

富山県初記録のアオタテハモドキ

著者	二橋 亮
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	28
ページ	95
発行年	2005-03-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=819

短 報

富山県初記録のアオタテハモドキ

二橋 亮

東京大学新領域創成科学研究科先端生命科学専攻

277-8562 千葉県柏市柏の葉5-1-5

The first record of *Junonia orithya orithya*
(Linnaeus, 1758) from Toyama Prefecture

Ryo Futahashi

Tokyo University

5-1-5 Kashiwanoha, Kashiwa City, Chiba,

277-8562, Japan

アオタテハモドキ *Junonia orithya orithya* (Linnaeus, 1758) は、国内では南西諸島に生息するが、本土でも迷入と考えられる個体がときおり採集されている。本種は、近県では石川県で2例、新潟県で1例の採集記録があるが(武藤, 1967; 松井, 2004; 菊地, 1998), 富山県からは未記録であった。著者は、今回氷見市宮田で、本種1♂を採集したので報告する。富山県からは、これまでに125種の蝶類が記録されていたので(水野ほか, 1998, 1999), 本種は県内126種目となる。標本は富山市科学文化センターに保管されている。なお、著者は以下のように、1994年にも本種と思われる個体を目撃している。

アオタテハモドキ *Junonia orithya orithya* (Linnaeus, 1758)

1♂採集, 氷見市宮田, 7-XI-2004, 二橋亮 (Fig. 1).

1♂目撃, 八尾町三田, 14-VII-1994, 二橋亮・二橋弘之.

今回採集された場所は、氷見市宮田の乱橋池に続く谷戸である (Fig. 2)。採集個体は、谷戸を飛翔中のところを発見し、草地に静止したところを採集した。2004年は計10個の台風が本土に上陸しているが、県内に最も大きな被害をもたらした台風23号が、10月20日に県内を通過しており、その影響で飛来した可能性が高いと思われる。氷見市宮田では、これまでも南方系の飛来種であるウスイロコノマチョウが、複数採集されており(水野・根来, 1992; 水野ほか, 1998, 1999), トンボ類でも、オオギンヤンマ, スナアカネ, ハネビロトンボなどの南方系飛来種が記録されていることから(二橋ほか, 2004), 迷入種の飛来しやすい立地条

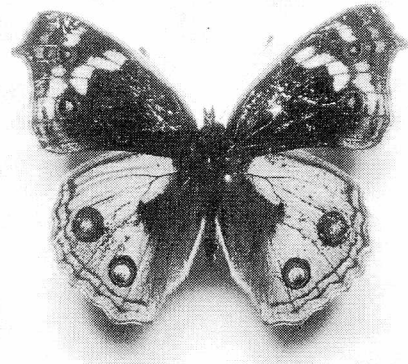


Fig. 1



Fig. 2

件にあることが考えられる。末筆ながら、文献面でお世話になった水野透氏に厚くお礼申し上げます。

参考文献

- 二橋 亮・二橋弘之・荒木克昌・根来 尚, 2004. 富山県のトンボ. 富山市科学文化センター収蔵資料目録, 17: 1-220.
- 菊地雅之, 1998. アオタテハモドキ佐渡で記録. 越佐昆虫同好会報, (79): 99.
- 松井正人, 2004. 石川県金沢市でアオタテハモドキ採集さる. 翔, (170): 1.
- 水野 透・根来 尚, 1992. 氷見市で採集されたウスイロコノマチョウ. 富山市科学文化センター研究報告, (15): 91-92.
- 水野 透・大野 豊・澤田昭芳・根来 尚, 1998. 富山県の蝶 (I). 富山市科学文化センター収蔵資料目録, 11: 1-113.
- 水野 透・大野 豊・澤田昭芳・根来 尚, 1999. 富山県の蝶 (II). 富山市科学文化センター収蔵資料目録, 12: 115-240.
- 武藤 明, 1967. 石川県で採れた蝶3種. 蝶と蛾, 17(1/2): 49.